

看護師のがん看護に対する困難感尺度

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jspm/8/2/8_240/_article/-char/ja/

あなたはがん患者・家族のケアをするときに、以下のそれぞれの項目についてどのようにお考えになりますか。それぞれ最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

	そう 思わない 全く	そう 思わない	そう 思わない あまり	やや そう 思う	そう 思う	非常 にそう 思う
【コミュニケーションに関すること】						
1. 十分に病名告知や病状告知をされていない患者とのコミュニケーションが困難である	1	2	3	4	5	6
2. 転移や予後など「悪い知らせ」を伝えられた後の患者への対応が難しい	1	2	3	4	5	6
3. 患者と十分に話をする時間がとれない	1	2	3	4	5	6
4. 患者から不安や心配を表出された場合の対応に困難を感じる	1	2	3	4	5	6
5. 患者から「死」に関する話題を出されたり、「死にたい」と言われた場合の対応に困難を感じる	1	2	3	4	5	6
6. 「死にたい」と訴える患者に対する対応に困難を感じる	1	2	3	4	5	6
7. せん妄や意識レベルの低下などで本人の意思が不明な患者への対応に困難を感じる	1	2	3	4	5	6
8. 患者と家族のコミュニケーションが上手くいっていない場合の対応に困る	1	2	3	4	5	6
9. 十分に病名告知や病状告知をされていない家族とのコミュニケーションが困難である	1	2	3	4	5	6
10. 転移や予後など「悪い知らせ」を伝えられた後の家族への対応が難しい	1	2	3	4	5	6
11. 家族と十分に話をする時間がとれない	1	2	3	4	5	6
12. 家族から不安や心配を表出された場合の対応に困難を感じる	1	2	3	4	5	6
13. 家族から「死」に関する話題を出された場合の対応に困難を感じる	1	2	3	4	5	6

	そう 思わない 全く	そう 思わない	そう 思わない あまり	やや そう 思う	そう 思う	非常に そう 思う
【自らの知識・技術に関すること】						
14. 私は抗がん剤治療や副作用に関する知識・技術が不十分に感じる	1	2	3	4	5	6
14. 私は手術後の患者のケアに関する知識が不十分に感じる	1	2	3	4	5	6
16. 私は放射線治療や副作用に関する知識が不十分に感じる	1	2	3	4	5	6
17. 私は疼痛や治療・ケア、副作用に関する知識や技術が不十分であると感じる	1	2	3	4	5	6
18. 私は呼吸困難のアセスメントや治療・ケアに関する知識や技術が不十分であると感じる	1	2	3	4	5	6
19. 私は倦怠感のアセスメントや治療・ケアに関する知識や技術が不十分であると感じる	1	2	3	4	5	6
20. 私は嘔気のアセスメントや治療・ケアに対するケアや支援に関する知識や技術が不十分であると感じる	1	2	3	4	5	6
21. 私は抑うつや不安などのアセスメントや治療・ケアに関する知識や技術が不十分であると感じる	1	2	3	4	5	6
22. 私はせん妄のアセスメントや治療・ケアに関する知識や技術が不十分であると感じる	1	2	3	4	5	6

	そう 思わない 全く	そう 思わない	そう 思わない あまり	やや そう 思う	そう 思う	非常に そう 思う
【医師の治療や対応に関すること】						
23. 医師が終末期の患者に関わることに消極的である	1	2	3	4	5	6
24. 医師が医療用麻薬を処方に消極的である	1	2	3	4	5	6
25. 医師の医療用麻薬の処方の方法が不適切である	1	2	3	4	5	6
26. 医師の痛みや呼吸困難などの身体症状の緩和に関する知識や技術が不十分である	1	2	3	4	5	6
27. 医師の抑うつや不安などの精神症状の緩和に関する知識や技術が不十分である	1	2	3	4	5	6
28. 身体症状や精神症状の緩和に関して、医師と看護師、他の職種の連携が不十分である	1	2	3	4	5	6
29. 医師や看護師が患者に対する治療のゴールを共有できていない	1	2	3	4	5	6
30. 治療方針の決定が医師のみでなされ、看護師の意見が組み入れられない	1	2	3	4	5	6

	そう 思わ ない 全く	そう 思わ ない	そう 思わ ない あまり	やや そう 思う	そう 思う	非常 に そう 思う
【告知・病状説明に関すること】						
31. 医師からの患者への病名告知が不十分	1	2	3	4	5	6
32. 医師からの治療期の患者への治療や病状に関する説明が不十分	1	2	3	4	5	6
33. 医師からの終末期の患者への治療や病状に関する説明が不十分	1	2	3	4	5	6
34. 医師からの治療期の家族への治療や病状に関する説明が不十分	1	2	3	4	5	6
35. 医師からの終末期の家族への治療や病状に関する説明が不十分	1	2	3	4	5	6
36. 患者・家族が治療や病状の説明内容や治療の目的（延命や緩和治療であることなど）を受けたのに理解していない	1	2	3	4	5	6

	そう 思わ ない 全く	そう 思わ ない	そう 思わ ない あまり	やや そう 思う	そう 思う	非常 に そう 思う
【システム・地域連携に関すること】						
37. 在宅へ退院したほうがいいと思う患者が、実際には退院できない	1	2	3	4	5	6
38. 在宅でがん患者を診療できる診療所や訪問看護ステーションが少ない	1	2	3	4	5	6
39. 身寄りがない患者の在宅療養が困難である	1	2	3	4	5	6
40. 患者や家族に退院をすすめたり、準備をはじめるタイミングが遅い	1	2	3	4	5	6
41. 患者や家族に退院をすすめてから、実際に退院になるまでに準備に時間がかかりすぎる	1	2	3	4	5	6
42. 経済的な問題を抱えた患者への対応に困難を感じる	1	2	3	4	5	6
43. 患者の治療やケアに必要な薬剤や機器（ポンプやエアマットなど）が病院・病棟に不足している	1	2	3	4	5	6
44. 治療期と終末期の患者を同じ病棟で受け持つことに困難を感じる	1	2	3	4	5	6

【看取りに関すること】

	そう 思わ ない 全く	そう 思わ ない	そう 思わ ない あまり	やや そう 思う	そう 思う	非常 に そう 思う
45. 急変や連絡が不十分で臨終時に家族が立ち会えないことがある	1	2	3	4	5	6
46. 家族による看取りではなく、医療者が中心の看取りになっている	1	2	3	4	5	6
47. 患者が亡くなったあとに十分に家族とお別れの時間をとってあげることができない	1	2	3	4	5	6
48. 臨終前後の患者・家族に誠意のない対応をする医師がいる	1	2	3	4	5	6
49. 臨終前後の患者・家族に誠意のない対応をする看護師がいる	1	2	3	4	5	6